


同軸用SPD B-JP-9形

取扱説明書

 株式会社サンコーシャ

1. 概要

本製品は、同軸ケーブルから誘導される雷サージより、High Definition Serial Digital interface (以下、HD-SDI) 対応の監視カメラ、モニター等の機器を保護するために使用する BNC 形同軸用 SPD です。

2. 仕様・性能

- (1) 品名 同軸用 SPD
 (2) 形名 B-JP-9 形
 (3) 性能

項目		性能
伝送性能	使用周波数帯域	DC～3GHz
	V. S. W. R	1.5 以下
	挿入損失	0.5dB 以下
	インピーダンス	75Ω
	許容電力	10W

注) 性能測定時の温度・湿度は、JIS Z 8703 (試験場所の標準状態) の標準状態温度 $20 \pm 15^{\circ}\text{C}$ ・標準状態湿度 $65 \pm 20\%$ によります。

3. 取り付け方法

3.1 本製品を機器へ直接接続する取付方法

- (1) BNC 形同軸コネクタを用いた機器との間に接続し、使用します。
 ① カメラ側の出力端子に挿入してください。(図 2)
 ② レコーダー側の HD-SDI の入力端子に挿入してください。(図 3)
 (2) 機器筐体から接地線の他方は接地へ必ず接続してください。

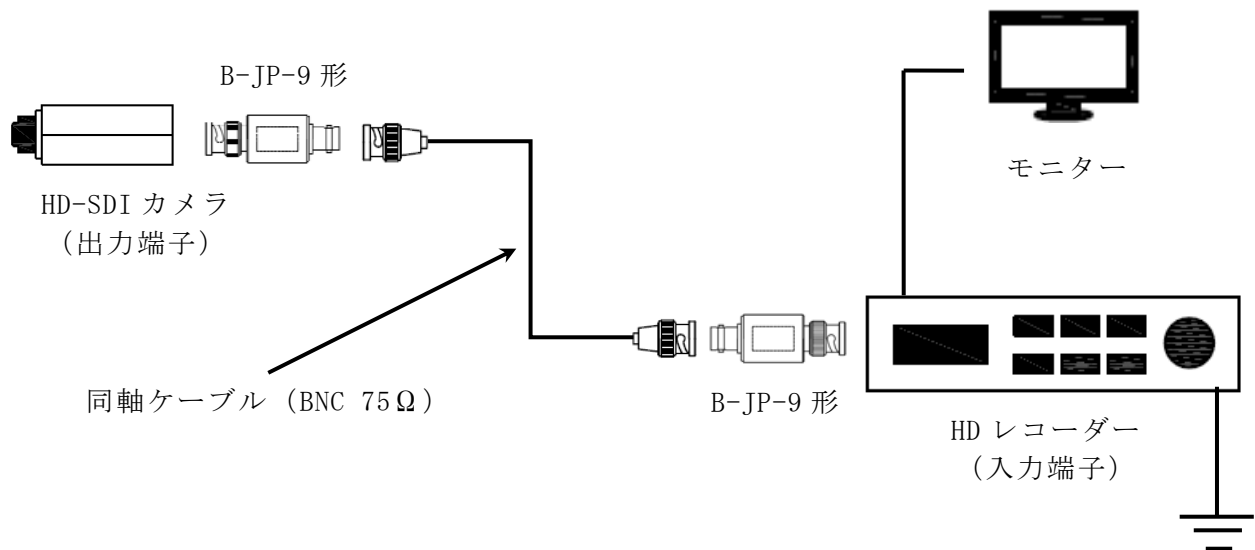


図 1 本製品を機器へ直接接続する取付方法



図 2 カメラ側接続

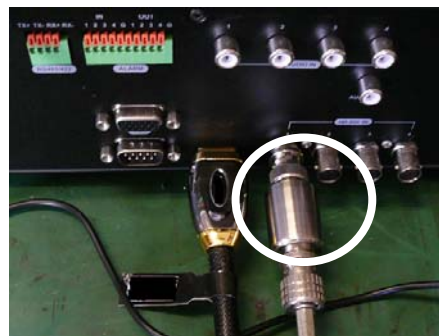


図 3 レコーダー側接続

3.2 同軸ケーブルの中間に接続する取付方法

本製品を同軸ケーブルの中間に接続する場合は、F-JP-1W 形用ホルダーをご使用ください。F-JP-1W 形用ホルダーには固定用の穴 $\phi 4.5$ が 2 箇所ありますので、ねじで木板等に固定してください。ねじで固定するとき、接地線の一方を共締めし、接地線の他方は接地へ必ず接続してください。

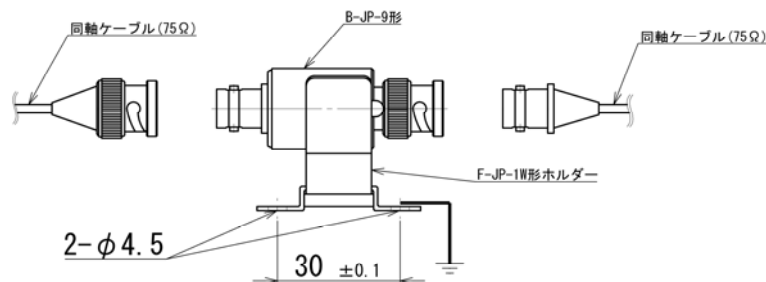


図 4 同軸ケーブルの中間に接続する取付方法

3.3 設置時の注意事項

- (1) 本品は、防水構造になっていないので、屋内でのみ使用してください。
- (2) 本品は、高温・多湿および腐食性ガス雰囲気中で使用しないでください。

4. 保守点検方法

本製品から機器もしくは同軸ケーブルを取り外して、点検を行ってください。(3 項参照) 接地線は、取りはずす必要がありません。

① 外観検査

- (1) スパーク等の痕跡がないこと。
 - (2) コネクタ部に変形等がないこと。
 - (3) 腐食等がないこと。
- 異常があれば、正常品に交換してください。

② 簡易的な電気的特性 (テスターにて) の点検

	導通検査	
測定箇所	中心導体～外部導体	外線側中心導体～機器側中心導体
正常状態	導通なし	1Ω以下

異常があれば、正常品に交換してください。



5. 保証

本製品の保証期限は使用開始後1年です。(ただし納入後15ヶ月です。)この間に発生した故障は、原因が明らかに当社の責任と判断された場合には、現品に限り良品と交換いたしますが、本製品の仕様外の原因によって故障が発生した場合には、保証しかねます。





なお、本製品は厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、あるいは輸送中の事故等による故障と思われる節は、お買い上げいただいた代理店または、各支店にお申しつけください。

6. 安全上のご注意




安全に関する重要な内容です。よくお読みの上、必ずお守りください。

誤ったご使用をした場合、事故等により使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるものを『 警告』の欄に、また使用者が負傷を受けたり、物理的損害の発生が想定されるものを『 注意』の欄に示します。

 **警告**

 禁止	本機器の使用目的以外での使用は絶対にしないでください。 ◇火災、感電など、不慮の事故の原因となります。
 禁止	本機器は屋内用で非防水です。屋外などの水が直接当たる場所での使用はできません。 ◇火災や感電、絶縁不良の原因になります。
 禁止	本機器を分解、加圧変形、使用環境以上の加熱、改造または部品を変更して使用しないでください。 ◇火災や感電、故障、操作不良の原因になります。
 注意	本機器より煙、臭い等の異常を感じたら速やかに使用回線より切り離してください。 ◇感電、火災の原因になります。

 **注意**

 禁止	本機器を水、シンナー等の溶剤で拭いたり、かけたりしないでください。 ◇変形や割れ、故障の原因になります。
 注意	本機器の汚れは、使用回線から切り離し柔らかい布等で拭いてください。 (水洗いは絶対にしないでください。)
 禁止	本機器には、落下等による衝撃を与えないでください。 ◇負傷、損傷、操作不良の原因になります。